

環境学習講座・親子それぞれの楽しみがありました

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月10日

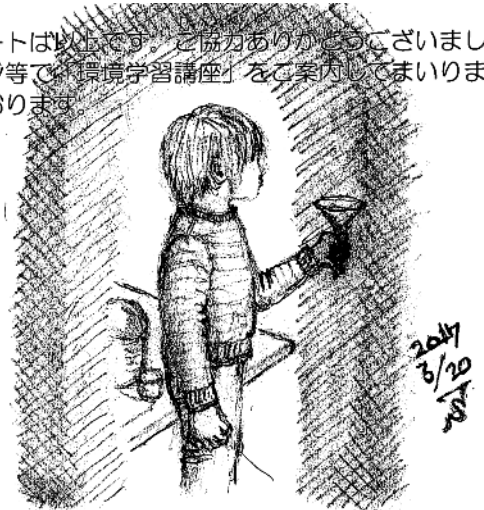
平成29年3月18日（土）～20日（月）、品川区環境情報活動センターにおいて、春の子ども環境学習講座「いっしょに学ぼう！生物多様性」が開催されましたが、3日目の「土のひみつを解き明かそう！」に参加して下さった1組の親子（小学生とお父さん）に目が止まりました。

当センターの講座では、原則として子ども（小学生）だけで受講する講座と、子どもと保護者が一緒に参加していただく講座がありますが、今回の講座では参加は子どもだけで保護者は後方で子どもさんの受講状況を見るといったものでした。なお、保護者が受講状況をご覧になるならないは自由でした。

私が注目したペアは講座開始の30分ほど前にお越しになりました。子どもさんは他の子どもさんと同様、熱心に講座を楽しんでいましたが、お父さんは子どもさんの動きをよく観察しておられました。

最後に皆さんにアンケートにお答えいただきますが、お父さんのアンケートには子どもさんが実験に参加している様子がイラストで描かれていました。保護者の方が子どもさんの活動を観察することは大切ですが、こういった講座の楽しみ方もあるのかなと思いました。

トは以上です。ご協力ありがとうございました。今後も広報紙、ホームページ等で「環境学習講座」をご案内してまいります。またのご参加をお待ちしております。



品川区環境情報活動センター

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月10日

今年（平成29年）の桜・・・開花から満開まで

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月17日

東京の桜の開花は平年より5日早い3月21日でした。東京では靖国神社の桜（ソメイヨシノ）の標本木が5～6輪開花した時に「開花した」と言います。一方、満開（花芽が8割程度、開花した状態のこと）は4月2日（日）でした。テレビなどマスコミは、4月4日（月）頃から「開花した！開花した！」と喧伝していましたが、果たして皆様のお住いの近くの桜はどうだったのでしょうか。たぶん、満開の発表がなされても皆様方のお住いの近くではまだまだこれからといった状況が多かったのではないのでしょうか。どうしてそのような違いがあるのでしょうか。

気象庁天気相談所に聞いてみました。気温以外に、風通しや排気ガスなど、標本木の周りの環境条件の違いや、樹齢にもよるとのことでした。一般に樹齢が長い方が早く咲くそうです。東京では、靖国神社（気象庁が東京の開花、満開を発表）や上野公園は品川区内より開花・満開が早いようです。

環境記者の皆さんからお送りいただいた品川区内の各地の桜の写真です。



ハツ山公園付近



ハツ山公園



(↑) 品川シーサイド(↓)



しながわ区民公園



戸越銀座



大森貝塚遺跡庭園



大井第一小学校



八潮団地



青物横丁駅付近

私たちも満開の桜を撮りに出かけましたが、4月4日（火）は行った場所ではせいぜい5分咲き、中には開花すら疑われる木もありました。その後撮影を続けました

が、6日（木）～10日（月）あたりが満開だったのではないのでしょうか。しかし、週末は花見にはあいにくの雨でした。



東品川海上公園(4/7)



大井水神公園(4/7)



大井水神公園から桜新道へ(4/7)



大井公園(4/7)



鮫洲運動公園(4/7)



しながわ区民公園(4/7)



花海道(4/7)



浜川公園(4/7)



目黒川(4/6)



かむろ坂(4/6)



立会道路(4/8)



しながわ中央公園(4/10)

開花予想には「600℃の法則」というものがあります。「2月1日以降、毎日の最高気温の累計が600℃を超えた日に桜が開花する」とする法則です。今年の場合で見ると、東京で600℃を超えたのは3月20日、開花日は21日で、比較的よく一致しています。しかし、多くの地区ではかなりのずれがありました。例えば鹿児島の場合では、それぞれ3月12日と4月5日で、大きな違いがあります。鹿児島は東京より気温が高いので早く開花するかと思うのですが、今年の場合、東京に遅れること約2週間の4月5日でした。どうしてでしょうか？夏場に形成された桜の花芽は、秋から冬にかけて一定期間低温にさらされることで眠りからさめ、開花の準備を始めます（休眠打破）。桜の開花には一定期間、低温にさらされることが重要です。鹿児島は冬の冷え込みが弱く、咲きにくくなってきているようです。最近、種子島では開花はしたけれど満開にならないという年が何年もあるとのこと。これも温暖化の影響でしょうか。

(環境情報活動センター)

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年04月17日

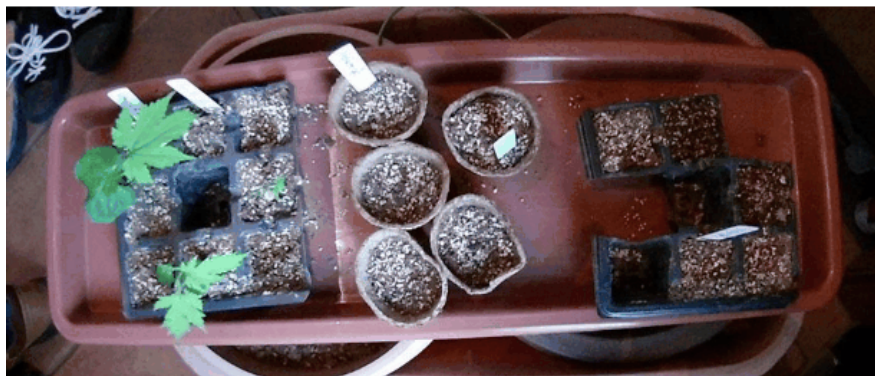
「緑のカーテンを作しましょう」に参加して

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年06月06日

4月30日(日)環境学習講座「緑のカーテンを作しましょう」に参加して、ゴーヤ、アサガオ、ヒョウタンの種を苗床に蒔きました。

写真左からゴーヤを6、ヒョウタン3、アサガオ6、ゴーヤ9です。



ゴーヤ15本のうち3本は早く芽が出て、丈夫そうだったので埼玉の畑から土を持ってきて、大きめのプランターに定植しました。

ヒョウタンは1本情けない芽を出しました。アサガオも6本のうち1本だけ発芽しました。危惧した通り発芽率は良くありませんでしたが、定植したゴーヤの苗が大きくなるのを楽しく眺めております。

いずれ、もう一度アサガオとヒョウタンに挑戦してみたいと思っております。

菊島俊吉

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年06月06日

「緑のカーテン」その後（6月上旬）

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年06月09日

先日、緑のカーテン作りのご報告をしました（<https://shinagawa-eco.jp/wp/coto/?p=1208>）が、その後の状況についてレポートします。

ゴーヤに花芽がつき始めました。

下の写真は先日報告したレポートの苗床には撮影されていない元気なゴーヤです。定植後2日ほどでネットを昇りだしました。（5月29日）



下の写真は6月7日の様子です。ツルの丈は70センチ以上です。小さな花芽もたくさんつき始めました。



元気のなかった4本の苗は近くに地植えしました。比較的元気だった2本は地面にツルが伸びていますが、元気のない2本は小さいままです。（下の写真）



10日ほどの間にずいぶん成長するモノですね。

平成29年6月7日

菊島俊吉

カテゴリ：平成29年度

投稿日 : 2017年06月09日

今年も無料!...国際短編映画祭2017地球を救え!部門

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年06月11日

6/3日(土)、無料イベント'SHORT SHORTS FILM FESTIVAL & ASIA 2017'国際短編映画祭の「Save The Earth」地球を救え!部門に行って参りました(表参道ヒルズなどで6/1~25)。世界の映像作家が各国の環境課題についてそれぞれの感性で表現しています。今回は南アフリカとラオスの現状を伝えた監督2名との質疑応答もありました。

The poster for the 'Save the Earth! Competition' is divided into two main sections. On the left is a 'GUIDE BOOK' for 'SHORT SHORTS CINEMATIC! CINEMAtec!' featuring a camera lens and film reels, with dates '6.1 (THU) - 6.25 (SUN)' and a QR code. On the right, the competition details are listed: '9 films' to be shown, supported by RINREI. It highlights two award categories: 'Best of Show (環境大賞)' and 'J-WAVE Award'. Two film thumbnails are shown: '今、見えるもの' (What I See Now) by Ewan MacLellan and 'ウルトラランナーの106マイル' (106 Miles of the Ultrarunner) by Yuta Arai. Logos for 'SPACE 0' and 'YOKOHAMA' are also present.

短編なので凝縮されていて非常に観やすく(1作品3分~15分、全9作品計80分程度)、はては宇宙ゴミの問題まで、環境問題で括られるも様々な視点に出会えます。ドキュメンタリーや悲しい事実に基づいた作品はずしりと来ますが、ブラックユーモアを交えた作品もあり、映像美や芸術性も楽しめます。

A grid of six film thumbnails with their titles and descriptions. 1. 'ビッグ・ブーム Big Boom' (Marat Naimanov | Russia | 4:12 | Animation | 2016) - '人類と地球の歴史を纏いた4分間' (The history of humanity and our planet in four minutes). 2. '水を、ください Water, Please' (Mia Gondola | South Africa | 1:00 | Drama | 2016) - '愛するもののため、一線を越えるべきときがある。' (For those we love, we should be willing to cross the line). 3. 'ゴミの分別 Trash' (Juan Silva | Spain | 4:59 | Drama | 2016) - '2人の男が、ある結核菌に引きずり込まれる。' (Two characters immersed into the ongoing crisis). 4. '漂うもの Adrift' (Lain Le Couteur | UK | 11:10 | Documentary | 2016) - '宇宙のゴミの隠された秘密に迫る。' (The secret world of space junk). 5. '森を守るものたち Gardeners of the Forest' (Cevian Carthuis & Nicole Jordan-Webber | USA | 14:32 | Documentary | 2016) - 'かつて何百万頭も集っていた場所に今残るのはたった400頭のみ...' (The Land of a Million Elephants only has 400 left). 6. 'ライフ・アズ・リゾーム -竹で自転車を作る男- Life as a Rhizom' (Lisi Kietling | Brazil | 13:34 | Documentary | 2016) - 'シンプルに、ポチティブに生きる。' (Elias lives a simple life with a positive outlook).

Peatixというチケットシステムで予約が出来ますが、当日券も十分にあり。残りの日程でこの部門は6/21(水) 17:50~横浜ブリリアショートショートシアターでの開催。仕事帰りにぶらっと立ち寄っても観られるでしょう。もちろん他の部門も無料なのでおすすめ...未来や環境に関するメッセージを含んだ作品が案外ありそうです♪

映画祭ホームページ→<http://shortshorts.org/2017/>

「地球を救え!部門」→<http://shortshorts.org/2017/ja/program/earth.php>

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年06月11日

「緑のカーテン」その後2 (6月下旬)

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年07月10日

先日（6月6日・9日）二度にわたり、緑のカーテン作りの種植え付けから発芽・本植までの報告をしました。その後の状況についてレポートします。現在は、ツルがグングン伸びだし2メートルの園芸用ネットを超えてしまいました。（6月27日）



次々と咲く雌花に受粉をしてやると実を結び、もう4センチほどのゴーヤです。（写真中）アサガオもすくすく育っています。（写真右）

平成29年6月27日
菊島俊吉

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年07月10日

生ごみからエネルギーを作ろう！

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年07月12日

平成29年6月24日(土)、山中小学校「山中おやこエコクラブ」で、環境講座「生ごみからエネルギーを作ろう！」が開催されました。同クラブは、年間を通じた菜園活動や、概ね月1回のエコに関わるイベントを児童と保護者・先生と一緒にやって行っています。今回は東北大学大学院農学研究科の多田千佳准教授のご指導の下、生ごみからエネルギーを作る実験に取り組みました。参加者は1～6年生26名と保護者14名、計40名でした。



(1) はじめに「燃えるガス“メタン”」についてのお話がありました。

- ・メタンは牛のげっぷから出てくるなど、牛の胃についての話
- ・田んぼからブクブクと泡が出ていることがあります。これもメタンです。
- ・メタン発酵は雑多な菌のいる環境で酸素のない状態で行われるため、私たち人間がコントロールしなくても自然環境の中で出てきます。
- ・もっとこの自然の営みを活用してエネルギーを作ったら良いと思います。

(2) 生ごみからエネルギーを作る実験

①生ごみに水を加えて
ミキサーで粉碎

②マルチビタミン・ビタミン剤の
水溶液をボールに加えて混ぜる

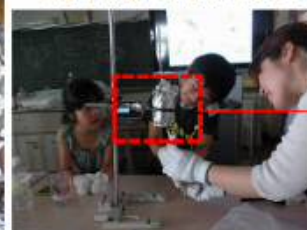
③種菌の入ったペットボトルに
混ぜた液を入れる



④35℃程度の温かい場所に置いておく(3週間でガスが袋1杯になる)

⑤前もって作っておいたガス(*)でお湯を沸かす

(*)東京都森ヶ崎下水道処理場からいただいたものです



⑥お湯は 70°Cほどにまで熱くなり、
みなでお茶を飲みました。



“ene・café METHANE” (エネカフェメタン)



ガス灯



(3) みんなで聖火の炎をつくろう！

多田先生の研究室がある宮城県大崎市鳴子温泉には、“ene・café METHANE”（エネカフェメタン）というカフェがあり、来場者にバイオガスをエネルギー源として沸かしたお湯を使ったお茶を提供しています。

カフェの横には、バイオガスでともるガス灯もあります。

家庭や旅館の生ごみからバイオガスを作り、発電・充電して電気自動車を走らせることもできます。

また、先生が委員長をされている「みんなで聖火の炎をつくろう！」実行委員会では、全国の子どもたちと生ごみからバイオガスを生成し、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの聖火を点灯したいと考えているとのことでした。

“ene・café METHANE”（エネカフェメタン）とガス灯の写真は、それぞれ下記のURLからのものです。

“ene・café METHANE”（エネカフェメタン）

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/2014/06/press20140625-01.html>ガス灯

<http://blog.goo.ne.jp/lonewolf-pochi/e/b8e1ce123e627c6e0abcc0126c7c3b33>

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年07月12日

「緑のカーテン」その後3

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年07月19日

これまで緑のカーテン作りの報告をしてきましたが、その後の状況についてレポートします。

最初の収穫です！（7月9日）12センチと小さいですが、藤沢の野菜を持って来訪した友人に差し上げました。



今では、2×1.5メートルのネット一杯に広がりました。本日7月12日には14センチほどのゴーヤを収穫しました。写真にある最大のものは22センチ（ちょっと細いのですが）全体で14個ほど実がなっています。毎朝楽しみに人工授粉をしています。上部の葉が大きくなならないので日影がちょっと少ないです。



「ゴーヤチャンプル」作りました！！



7月18日
菊島 俊吉

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年07月19日

品川区が‘エコプロ2017’に参加

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2017年12月20日

品川区は「オール東京62市区町村共同事業『みどり東京・温暖化防止プロジェクト』」の中で‘エコプロ2017’に参加しました。



(1) 品川区の環境活動紹介

①‘SHINAGAWA“もったいない”プロジェクト in ECOフェスティバル2017’

品川区は本プロジェクトを通して「食品ロス（まだ食べられるのに捨てられる食品）削減」に取り組んでいます。環境関連では区内最大級のイベントである‘しながわECOフェスティバル2017’で「食品の食べきり」を呼びかけ、前年に比べ約20%の生ごみを減らすことが出来ました。

②区民がつくる「しながわ花海道」

2002年から地域住民や地元小学校、商店街が協力し、花を植え環境整備を図ったことで、以前はごみや雑草が見受けられた勝島運河は、四季折々の花が咲き、人々を楽しませる地域の憩いの場へと姿を変えました。地域の力でおこなった環境改善です。



(2) ワークショップ

品川区環境情報活動センター職員（気象予報士）による「ペットボトルで“雲”を作ろう実験」を開催し、小学生から大人の方まで、約70名の参加がありました。また、気圧の高低による「袋菓子の袋が変化する実験」、「穴を一つ開けた缶コーヒーの中身が出たり入ったり実験」もあり、小学生は驚きとともに大いに楽しんでいました。



「ペットボトルで“雲”を作ろう」実験



「袋菓子」実験と「缶コーヒー」実験

以上
品川区環境情報活動センター

カテゴリ：平成29年度
投稿日：2017年12月20日

八潮の‘カモ’

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年01月23日

品川八潮パークタウンが“まちびらき”したのは1983年（昭和58年）ですから、35年という比較的若い街ですが、木々が育ち、緑豊かで自然が感じられる地区となっています。

この地区にお住まいの石川知子さんに「八潮の自然」について語って頂きました。八潮の緑道公園（正式名称は「大井ふ頭緑道公園」）の池に20年以上前からいるカルガモを石川さんのグループが守った時のお話です。

「あのゼンマイ仕掛けのおもちゃのようなかわいいヒナが毎年何羽も生まれます。しかし、卵がヒナにかえるためには危険が待っています。ヘビ、ネズミ、カラスから卵を守らなければなりません。私たちは次の産卵に備えて関係部署にお願いすること、自分たちができることを考えました。私たちはカラスから卵を守るために、カモの記録日誌を作り、仲間と時間割を決め、1日中（7月／日の出の4時半頃から夕方7時頃まで）交替で見張りしました。その甲斐もあって、8羽のヒナが孵化しました。親カモの後ろに一列に並んで元気に池の中を泳いだり、枯れ葉の道を転びながら走り回っていました。私たちはお赤飯のおにぎりとお茶で乾杯しました。初孫が誕生した気分でした。」

お話を伺って、カルガモの今と緑道公園の自然を感じとろうと出かけました。この日は18羽のカルガモが親鳥と一緒に気持ち良さそうに泳いでいました。以前、10羽ほどのカルガモが皇居周辺の道路を横断し、お堀に飛び込む姿がテレビで紹介されたことがありましたが、そんな場面を思い出しながら写真を撮りました。

石川さんの話によると、池の横を八潮周回道路が通っているのですが、カルガモたちが横断歩道で信号待ちをし、信号が青になってから道路を横断したそうです。微笑ましい風景を想像しました。



この公園は八潮パークタウンに沿って約1kmの公園ですが、品川区内にもこんなに自然を感じさせてくれる場所があるのかと思うほどで、絶好の散歩コースになっています。ぜひお出かけになってみてください。



平成30年1月19日

環境情報活動センター

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年01月23日

記録的な寒さと霜柱

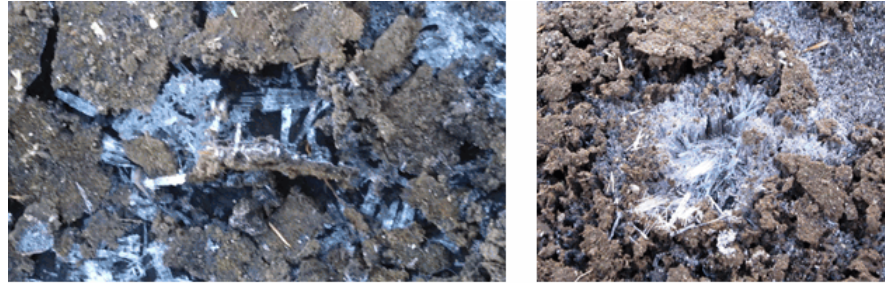
カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年01月29日

1月25日(木)の朝、関東では今季最強の寒気の影響で厳しい冷え込みとなり、東京では -4.0°C と、1970年以來48年振りの -4°C 台を記録しました。

このところのニュースでは、「大雪」と「低温」で始まることが多いのですが、上空に非常に強い寒気が流れ込み、日本列島をすっぽり包んでいるためだそうです。これはラニーニャ現象によるもので、南米ペルー沖の海面水温が平年より低くなる現象で、世界的に異常気象を起こすとされています。

こみゆにていぶらざ八潮前で霜柱を見ました。先日(1月15日：写真左上)にも観察しましたが、25日の状態(写真左上以外)とは若干の違いがありました。霜柱は地中の水分が毛細管現象によって地表にしみだし、地面付近で柱状に凍ったもので、空気中の水蒸気が昇華して凍った霜とはでき方が違います。



15日は、その前1週間降雨がなく土の表面が乾燥しており、地表面の下にしっかりとした霜柱ができていました。一方25日は、22日に降った大雪の影響で周りにも残雪があり、霜柱が地表面に現れていました。

コンクリートで覆われた街中では見ることの少ない霜柱ですが、都会でも土が見える場所では目にすることができます。こういった自然現象から自然を大切にすることを考えたいと思います。

平成30年1月25日

環境情報活動センター

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年01月29日

環境学習講座「おいしいお茶の入れ方を学びましょう」に参加して

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年01月29日

1月21日（土）に開催した環境学習講座「おいしいお茶の入れ方を学びましょう」にご参加いただいた方から、早速ご投稿いただきました。

今日（1月21日）は、こみゆにていぶらぎ八潮で、品川区環境情報活動センターの環境学習講座「おいしいお茶の入れ方を学びましょう」に参加させていただきました。「東日本大震災・熊本地震復興支援のイベント「キャンドルナイト イン 八潮」にもご協力いただいています伊藤園の千田支店長さんが講師でした。

様々な入れ方、美味しいお茶の入れ方の4つのポイント。日頃何も考えずにお茶を入れていましたが、勉強させていただいたおかげで、今後、私の入れるお茶が100倍美味しくなりそう！！水出しとお湯出しの違い、お茶の入れ方でこんなに味に違いがあることに、驚きました。ありがとうございました。

なお、製造工程で発生する大量の茶殻の多くは、農家への堆肥・飼料として利用されているそうです。

写真の使用済みの茶葉を使った封筒は、お茶の香りがほんのりです。興味深い講座が、今後も開催されるそうです。



カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年01月29日

しながわ区民公園の『こも巻』

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年02月06日

しながわ区民公園では、公園内にある約300本（内、約150本がクロマツ）に、こも巻がされています。こも巻は、松を害虫から守るために行われるもので、寒い冬の間にこもの中に入った害虫を、暖くなる前にこもと一緒に焼いて駆除します。

区民公園の方をお願いして2本の松のこもを外して頂きました。そこにはサシガメがいました。サシガメは松にとっては害虫ではありませんが、人には危害（人を刺す）を及ぼすということでした。この日には見られませんでした。アブラムシ（各種植物の生育に影響を及ぼす生きもの）を食べるテントウムシやゴキブリ、ナメクジがいることがあるそうです。

一方、冬の風物詩として、こも巻は公園の景観を引き立たせています。しながわ区民公園に松が植えられているのは、東海道の松林を再現しようというコンセプトからだそうで、人工湖「勝島の海」の周りの松は見ごたえがあります。

昨年の11月にこもが巻かれ、3月には外されるとのことです。



環境情報活動センター

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年02月06日

品川清掃工場 個人見学会

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月12日

毎月行われている品川清掃工場見学会。2月24日(土・10:00～約90分)、参加者は少数でしたが、「自分のゴミの出し方が正しいのか気になっていたので…」という方々と共に、講師の土田さんにご説明いただきながら、ごみ焼却施設の見学のツアーに同行しました。



23区で多い日は1万トン超えるごみを21ヶ所の清掃工場で焼却処理しています。業者からの可燃ごみは¥15.5/1kg。品川に持ち込まれる業者ごみは家庭ごみの量とほぼ半々。回収車ごと重さを計量し、プラットホームからバンカに落とされたごみはクレーンでかき混ぜてから焼却炉に投入されます。この日、二つある焼却炉の2号機が点検後の加熱中(24時間かけて→850℃)で、いったん燃え始めるとごみだけで燃え続けるそう。熱は発電に利用されており、約半分は工場で使用、残りは電力会社に売却して運営資金となります。(※八潮団地には125-135℃のお湯で熱源供給されています)

バンカ内で4.5 tのクレーンの爪が3.5 tのごみを掴む手動運転の様子はとてもダイナミックで見応えがありました。



工場でごみの重さが1/10、体積が1/20になっている事…。灰、排ガス、水など工場から出るものから埋め立て後、有害物質が溶け出ないように薬剤処理していることや、灰をセメントに混ぜるなどして再利用で埋め立て量を減らす取り組みなど、その他興味深いお話が聞けました。

・水銀は大気汚染になるので間違っていると焼却炉を停止することがあります。ハンガーや金属のあみ、ふとんなど機器の破損の原因になることがあります。

・汲み取り式トイレのし尿処理も未だに行われています。新しい需要として、大型マンションで排水として生ゴミが処理できるシステムでも、それらは1ヶ所に集められ、し尿として処理しています。

・海外からの視察もあります。日本の技術は進んでいる方だと思われませんが、東南アジアからの方々は「建設資金がなかなか...」と言っていました。オランダの見学者はキャラクターを気に入っているようでした。

また個人的な疑問にもお答えいただきました。

Q. (プラスチックが紫外線などで劣化して海洋生物が食べて人への影響が懸念されている) マイクロプラスチックの問題が気になっているのですが、工場で処理されている分は大丈夫ですか？

A. マイクロプラスチックは河川や海に直接流れてしまったプラスチック製品から発生すると考えられるので、処理されたごみ、埋立地から出ることはありません。

きちんとした処理システムを見られたことは非常に良かったのですが、あと50年で東京湾の埋立地が一杯になり、その後のことは何も決まっていなるとなると不安を感じざるを得ません。「ゴミもなるべく減らして分別も気を付けなくちゃなあ...」という気持ちも改まる見学会でした。

環境情報活動センター

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月12日

桜の開花日予想

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月12日

今年も民間気象情報サービス（気象情報を提供している企業やNPO）が、桜の開花予想を発表していますが、簡単な予想方法として、「400℃の法則」と「600℃の法則」というものがあります。

「400℃の法則」とは、2月1日以降の毎日の平均気温を足して累計値が400℃に達した頃に桜が開花するという法則です。

また「600℃の法則」とは、同じように毎日の最高気温を足して、累計値が600℃に達した頃に桜が開花するという法則です。

それでは、東京の2011年以降のデータを見てみましょう。

	実際の開花日	平均気温 (400℃)	同誤差	最高気温 (600℃)	同誤差
2011年	28日	27日	1日	25日	3日
2012年	31日	29日	2日	28日	3日
2013年	16日	19日	3日	19日	3日
2014年	25日	26日	1日	25日	0日
2015年	23日	26日	3日	22日	1日
2016年	21日	20日	1日	18日	3日
2017年	21日	24日	3日	20日	1日
2018年予想		23日		21日	

この7年間のデータでは、実際の開花日との誤差は0～3日となっており、「法則」というだけあって比較的正確と見て良いのではないのでしょうか。

この方法で今月初めに行った予想では、開花は23日（600℃）、25～26日（400℃）でした。

それは今年の2月の気温は最近数年に比べて低かったためで、その後3月上旬は気温が高くなり、開花予想日が早まりました。

なお、10日後には結果が出ているはずです。

（注）3月11日以降の予想気温は、国内外の民間気象情報サービスの予想（一部加工）を使用しました。

民間気象情報サービスの予想では、今年の開花は3月21～22日が多いようです。（平年は26日）

平成30年3月12日

品川区環境情報活動センター

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月12日

平成29年度 環境表彰式

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月14日

平成30年2月24日（土）、平成29年度の環境表彰式として、環境保全活動顕彰式・みどりの顕彰式・資源リサイクル活動貢献団体への感謝状贈呈式が行われました。「環境保全活動顕彰」は昨年度からスタートして今年度で2回目、前身の環境大賞から数えて11回目を迎えました。区内で環境保全に関する優れた活動をされている企業、個人、団体を顕彰し、その活動を広く区民の皆様を紹介することを目的としたものです。

今年度は、企業大賞1件、企業賞1件、地域大賞1件、地域賞3件が選ばれました。

「みどりの顕彰」は、「みどりの顕彰制度」として平成10年度からスタートし、今年度で20回目を迎えました。この「みどりの顕彰制度」は、品川区みどりの条例の規定により提出される緑化計画書に基づいて、その中で地域の環境や景観の向上に資するような、優れた緑化を行った方々を顕彰し、区民の皆様の緑化に対する意識の向上を図るために設けられた制度です。

今年度は、緑化大賞1件、緑化賞2件が選ばれました。

また、平成4年から実施しております地域での資源集団回収事業の中で、日頃からごみの減量と資源の有効活用に関して、特に貢献のあった10団体に対して感謝状が贈呈されました。

☆「環境保全活動顕彰」

【企業大賞】 東洋製罐グループホールディングス株式会社

「容器の環境対応と3Rの啓発活動～容器文化ミュージアム～」

日本初の容器専門会社として、容器の歴史と文化を伝えるため、平成24年に容器文化ミュージアムをオープンし、容器の環境対応と3Rの啓発活動を行っておられます。

同社は1917年に創立され、「包装容器」の製造を主な事業としておられます。

現代の社会生活においてなくてはならない缶、ペットボトル、紙コップ、ガラスびんなど、あらゆる容器を製造している会社です。

日本初の容器専門会社として、容器の歴史と文化を伝えるため、本社ビル1階に容器文化ミュージアムをオープンされました。ここでは、専門性を生かした「情報」「映像」「展示品」などで、身近な「容器」のことを親しみながら学ぶことができます。また、市民と企業のコミュニケーションの場となるよう、誰でも無料で利用することができます。



ミュージアムには環境コーナーが常設され、（左下写真の）左側が環境に配慮しながら生産した容器である「環境配慮容器」の紹介と説明、（同）右側が使用後の容器が何に生まれ変わるかなどの「容器の3R」についてです。



毎年、夏休みには2日間のイベントを開催しておられます（右上写真）。使用済みの容器を材料とする「エコ工作教室」では、「紙コップを使ったけん玉」「空き缶を使った太鼓」などを作りました。学校の「修学旅行」や「課外活動」の利用もあるということで、今後は学校に向いて行う「学校教育」への参加を検討していただけるということです。

2年前には、私ども環境情報活動センターも、容器文化ミュージアムで環境学習講座を開催させていただき、多くの参加者の方々に楽しんで頂きました。

【地域大賞】 宮前フラワーズ

「宮前花広場の集い」

平成23年から宮前花広場にて花壇の手入れや清掃活動を行い、地域にうるおいとやすらぎを提供しておられます。雑草の生えているような汚れた公園では防犯上、問題があると考え、いつもきれいにしておきたいという思いから、花壇作りを始められました。そのうち、高齢者や子育て世帯、ビジネスマンの休憩所として、賑わうようになりました。



花壇の手入れは、品川区高齢者クラブ連合会の老人クラブ松葉会の皆さんが、毎日2~3人交替でおられます。花の手入れは認知症の予防になるとテレビで聞いたとのことで、乾いた花壇にシャワーホースで水をあげると気分爽快になるそうです。また、雑草を抜いたり、花柄を摘んだり、しゃがんだり立ったりするのは足腰の鍛錬になるとのことです。

このような経験が役立つ人はだれかと考えると、子供たちだと考え、小中学生に花壇設計してもらい、高齢者が平日に花を育てるというスタイルがいいなと思っているとのことです。

【企業賞】 東京サラヤ株式会社

【地域賞】 矢の橋会、大井三丁目町会厚生福祉部、旗の台南町会

☆「みどりの顕彰」

【緑化大賞】 オーベルグランディオ品川勝島

事業者：大成有楽不動産株式会社

事業者並びに設計者：株式会社長谷工コーポレーション

管理者：オーベルグランディオ品川勝島管理組合

多種多様な緑をバランスよく、建物を囲むように植栽し、その多くが道路にも面していることから、お住まいの方だけでなく通行する方々にも緑のオアシスを感じて頂けるようなボリュームのある緑を創造されました。

デザインコンセプトは、以下の3点です。

- ・ 高密度な都市環境の中で、マンションの居住者の方々に緑量と季節感を提供し、やすらぎと落ち着きの感じられる快適な住環境創りを目指す。
- ・ 広域的な視点から地域の水と緑のネットワークにつながる森づくりを目指す。

・緑を豊かにする事で、野鳥や蝶など都市の身近な生き物が訪れる森づくりを目指す。



【緑化賞】 シティタワー目黒

事業者：住友不動産株式会社

設計者：前田建設工業株式会社

管理者：住友不動産建物サービス株式会社

【緑化賞】 ヒューリック大森ビル

事業者：ヒューリック株式会社

設計者：株式会社櫻井潔建築設計事務所・ETHNOS

管理者：ヒューリックビルマネジメント株式会社

☆資源リサイクル活動貢献団体

- ・ライオンズマンション大森第6管理組合
- ・北浜川西町会会計部
- ・大井第一小学校PTA
- ・ガーデンホーム南大井管理組合
- ・バレストュディオ五反田STATIONFRONT管理組合
- ・ライオンズプラザ五反田管理組合
- ・パシフィックハウス豊町管理組合
- ・品川大井町スカイレジタル管理組合
- ・ガーデンホーム南品川管理組合
- ・品川区立伊藤学園PTA

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月14日

しながわ花海道、菜の花だよりin 3月

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月14日

今年も早咲きの花として、2月下旬から開花し始めた「しながわ花海道」の菜の花が3月に入って満開となってきました。しながわ花海道の菜の花は2種類あり、早咲きの花は2月下旬ころ、通常咲きの花は3月下旬ころに見ごろとなるそうですが、今年は例年に比べ花の咲き具合が良いとのこと。



カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月14日

平成30年品川区の桜

カテゴリ：平成29年度

投稿日：2018年03月28日

今年の東京の桜（靖国神社の標本木）の開花は平年に比べ9日早い3月17日、満開は同じく10日早い3月24日でした。これは昭和28年に統計を取り始めて以来、3番目の早い満開でした。

（2002年3月21日、2013年3月22日）

なぜ開花が早かったのでしょうか。それは、「冬の気温が低く、春になって気温が高いと開花が早まるということで、今年はそのパターンにはまったから」と、ある気象予報士が言っていました。

実際にはどうだったのでしょうか。'18年は、確かに早い開花のパターンです。

	'18	平均(*)	備考
1月	4.7	5.93	'18年3月は、 28~31日の 予想で算出
2月	5.4	6.69	
3月	11.5	9.98	

(*)'01年~'17年の平均

品川区の桜も3月25日（日）頃に満開を迎えたのではないのでしょうか。

かむろ坂と目黒川で花見を楽しみました。

昨年4月6日に満開の桜を観ることができましたが、今年は昨年より1週間ほど早く満開になったようです。

東京の開花日／満開日／開花日から満開までの日数

	開花日	満開日	開花から満開までの日数
16年（H28年）	3月21日	3月31日	10日
17年（H29年）	3月21日	4月2日	12日
18年（H30年）	3月17日	3月24日	7日
平年	3月26日	4月3日	8日

桜の開花は、温暖化と結び付けて論じられることがあります。鹿児島では、温暖化により冬の気温が高くなることにより、開花が遅くなることがあるとされています。

【かむろ坂】



16年3月30日



17年4月6日



18年3月25日

【目黒川（亀の甲橋）】



16年3月30日



17年4月6日



18年3月25日

カテゴリ: 平成29年度

投稿日: 2018年03月28日